

## X カリキュラム（2023年度入学生）

### 全学共通科目と学部専門科目

四日市大学の授業は「全学共通科目」と「学部専門科目」に分かれています。全学共通科目は四日市大学の学生ならば誰でも履修できるのに対して、学部専門科目は所属する学部の学生だけが履修できます（一部に例外あり）。

四日市大学の授業	
全学共通科目	学部専門科目

授業には全学共通科目と学部専門科目がある

### 2. ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

四日市大学では学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定めています。また、ディプロマ・ポリシーに合致する人材を育てるために、カリキュラム編成方針（カリキュラム・ポリシー）も定めて公開しています。全学的なディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの基礎のうえに、各学部のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーがあります。

#### 全学共通のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

##### 全学共通のディプロマ・ポリシー

建学の精神でもある学園綱領「人間たれ」のもと、本学では、「博愛精神（主義）」に則り、学生たちの能力に信頼をおき、全面的な発達を目指して、いずれの能力にも偏しない総合的な生きるちからを育てる教育を行っています。また、四日市市との公私協力方式で設立された大学であるという特徴を生かし、「世界を見つめ地域を考える」大学として、地域に対し存在感を示すことのできる地域密着型、地域貢献型大学を目指しています。

こうしたことを踏まえ、いずれの学部においても、

- 多様な社会の価値観を理解し異なる意見や立場の人間をも尊重して行動することのできる幅広い人間力
- 向上心を持ち自らの知識や能力・可能性を常に伸ばしていこうとする姿勢
- 自らの役割や責任を自覚し自らの考えを的確に表現し伝える力
- 地域の持続的発展のために貢献できる力

などを身につけるために、全学共通科目等を通じて基礎的な教養・知識、汎用的技能を学び、その上で、所属学部のディプロマ・ポリシーを充たした人物に、学位を授与します

##### 全学共通科目のカリキュラム・ポリシー

全学共通のディプロマ・ポリシーに掲げる能力を身につけるため、次の各科目群により教育課程を編成し、講義、演習、実習等を適切に組合せた授業を行うとともに、学修成果を厳格に評価します。

全学共通科目のカリキュラム・ポリシー	
全学共通基礎科目	建学の精神など、本学で学ぶために最低限必要な知識と技能を主に修得する科目群
全学共通教養科目	大学生として身につけるべき教養を主に修得する科目群
全学共通応用科目	実社会で適用可能な知識や技能を主に修得する科目群

# Ⅹ 環境情報学部カリキュラム（2023年度入学生）

## 1. カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシー

### 環境情報学部

#### <カリキュラム・ポリシー>

環境情報学部では、全学共通の教育課程に加えて、学部専門の教育課程を編成します。

1. 環境科学・情報技術・メディア表現の基礎を身につけるための学部基礎科目と専攻間共通科目を置き、講義・演習を行う。
2. 環境科学・情報技術・メディア表現の各領域の専門知識・技術を修得するとともに、社会で活躍・貢献できる力を身につけるために、環境科学専攻とメディア情報専攻の2専攻を置き、それぞれ下記の科目構成をとる。
  - 2-1 〈環境科学専攻〉  
地球規模と地域の環境問題を、科学的な手法で把握するために以下の科目群を設定する。
    - 環境に関する基礎的な知識を修得する講義科目群
    - 環境分析や測定、フィールドワークなどの実験・実習科目群
    - 地域循環共生社会の実現に向けた具体的なターゲットを設定した演習科目群
  - 2-2 〈メディア情報専攻〉  
情報技術とメディア表現の根幹とその拡がり、学術・実践の両面から修得するために以下の科目群を設定する。
    - 情報処理・メディア表現に関する知識と技術を基礎から応用にわたって修得する講義科目群
    - 情報処理・メディア表現の技術と技能を実践的に修得する実習科目群
    - Society5.0の実現を視野に入れて具体的にターゲットを設定した演習科目群
3. 卒業論文または卒業作品、あるいは両方を制作する卒業研究を課す。

学生は1年次前期に2つの専攻に関する概論や導入的な科目を体験的に学修します。1年次後期からは各専攻に分かれて、専門的な学修を開始します。また1年次から並行して、専門的な学修の基盤となる全学共通科目を履修します。

#### <ディプロマ・ポリシー>

地球規模と地域の環境問題に加え、人口減少や少子高齢化の問題を抱える日本社会では、諸問題に立ち向かうための正しい科学的知識とともに、日々進化する情報技術や、人々に情報を効果的に伝えるメディア表現力を身につけた人物の育成が求められています。環境情報学部は、このような社会要請に応えるための教育を実践し、次の能力をそなえる人物に学士（環境情報）の学位を授与します。

1. 環境情報学を構成する環境科学と情報技術とメディア表現の基礎を修得したうえで、専門分野に求められる深い学識と技術を身につけている
2. 正しい科学的知識に基づく環境問題への対処や、社会に役立つ創造的な情報コンテンツの提供ができる
3. 専門家に求められる倫理を身につけ、持続可能な社会の実現に向けて、多様な人々と協働できる